



# ゴルフを通じて人を結ぶ 「昭和ひとけた会」誕生秘話

本誌主幹

犬中吉一

宝塚ゴルフ倶楽部



牛尾治朗氏

## 「昭和ひとけた会」 が生まれた時代

日本銀行の青木昭氏が大阪支店長に就任された折、かねてから関西財界と日銀とのパイプを太くしていくことが、関西財界の発展に繋がると考え、そのような活動をしていた私と面会した際に、青木氏が私に、「あなたは顔がたいそう広い。ぜひともその人脈を活用し、次世代を担う『昭和1桁生まれの会』を作りませんか」と提案されました。

青木氏の意図を推し量るべく、いったん事務所に戻り、東洋経済の役員四季報を見ますと、確かに会長・社長などほとんどの企業の役員が明治・大正生まれでありました。

ところが、当時の官僚たちは若くして出世している人物が多いことに

思い当たり、まずそうした官僚の方たちに声をかけることから始めることにいたしました。

事務次官として佐藤栄作首相に任せ、日米安全保障の会談にも立ち会った大蔵省の西垣昭氏、そして田中角栄内閣誕生と同時に秘書官に任命され、日本列島改造論を形にし、田中角栄のゴーストライターといわれた通商産業省（現：経済産業省）の小長啓一氏、農林省（現：農林水産省）の事務次官を経て農林中央金庫の理事長となった角道謙一氏、郵政省官僚を退任しNHKの副会長としてその発展に寄与された小山森也氏、建設省事務次官から日本住宅公団の総裁となった牧野徹氏など、官僚およびその経験者には、昭和1桁生まれの優秀な人材が揃いました。

そこで、このエリートたちに組み合わせる人材を選ぶべく、まずはウシオ電機株式会社の牛尾治朗氏に声をかけました。昭和6年生まれ、牛尾氏は、東京大学法学部政治学科を卒業して東京銀行に入行。その後カリフォルニア大学大学院に留学した秀才です。牛尾氏もこの昭和1桁の集まりに強く賛同され、彼の盟友で

ある小野田セメント（当時）の諸井慶氏に声をかけ、さらに昭和8年生まれの日本警備保障株式会社（現…セコム株式会社）の創業者である飯田亮氏、大日本印刷株式会社の北島義俊氏など官僚とその経験者6名、財界から6名の計12名の昭和1桁生まれが勢揃いし、「昭和ひとけた会」が発足いたしました。

その際に牛尾治朗氏から、会員は1業種1社に限定しようという提案を頂き、様々な業種のトップ企業が集まる集いとして「昭和ひとけた会」は着実に会員を拡大することになりました。

最終的には85名あまりの会員数となり、会員となった企業の売上高を合計すれば当時500兆円ほどの規模であったと思います。

赤坂の「口悦」という料亭に午後6時に集い、毎回1人がテーマに



赤坂 口悦

沿ったスピーチを行い、さらに質疑応答が行われた後に、6時30分から懇親会という流れで、さまざまな情報交換や人の輪の広がりが生まれました。

### 名門コースをめぐる 育んだ「交悠録」

こうした集まりが生まれれば、当然のようにゴルフに行こうという機運は高まるもので、最初は青木昭氏を関西の名門コースとして知られる『ジャパンエースゴルフ倶楽部』にご案内しました。その際に、関西電力株式会社の秋山喜久氏、大阪ガス株式会社 領木新一郎氏、さらに経済同友会の代表幹事だった臼井孝之氏とご一緒し、ゴルフ談義をしながら関西経済界の発展について語ったことを昨日のことにように記憶しております。

青木氏は大のゴルフ好きで、その後もいくつものコースをご一緒いたしました。

大阪初のゴルフ場としての伝統を誇る『茨木カントリー倶楽部』は、東西それぞれに18ホールを擁し、36



茨木カントリー倶楽部

ホールの規模を持つ名門で、当時は「日本オープン」が開催されたが、1996年に優勝した米国のピーター・テラベイン選手は、西コースで4日間通算2アンダーという成績でした。プロでも手を焼く難コースだったのですが、自然の景観を生かした美しいコースはプレイする者を楽しませてくれました。

その後も名門『宝塚ゴルフ倶楽部』の山あり谷ありの難攻不落な難コースなど、いくつもの関西を代表するコースをご一緒したことは忘れることのできない思い出です。

さらにサントリーの佐治敏三氏と、彼の盟友であるダイキン工業株式会社の山田稔氏との「交悠録」は、山田稔氏が設立されたばかりの「ライオンズカントリー倶楽部」が舞台でした。19

番ホールでは、サントリービールを酌み交わしながら懇談したことは忘れえぬ思い出となっています。

そして忘れてならないのが、関西の小金井カントリー倶楽部と呼ばれる名門コース、『西宮カントリー倶楽部』です。田野辺薫氏の選んだニッポンのベストコース50に数えられるこのコースでは、幾多の「交悠録」を重ねてまいりました。

こうして積み重ねた「昭和ひとけた会」の「交悠録」ですが、忘れてはならないのが株式会社西武百貨店社長の堤清二氏です。彼ご本人は必ずしもゴルフが好きではなかったのですが、彼が御殿場につくった「urakuゴルフクラブ御殿場」にご案内いただいた時に、「これは接待コースで富士山が良く見える」というお話を伺いながら美しい景色の中で「交悠録」を重ねたことを思い出しました。

いまはシーズンオフで、なかなかコースに出る機会はありませんが、3月5日の「ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」が開催される頃には、また新たな「交悠録」がスタートできると思います。ぜひ、コースでお会いしましょう。